

吉田町介護保険事業の特徴

当町の介護保険事業について地域包括ケア「見える化」システムより、近隣団体と比較し、当町の特徴と要因分析を実施しました。

1 比較団体

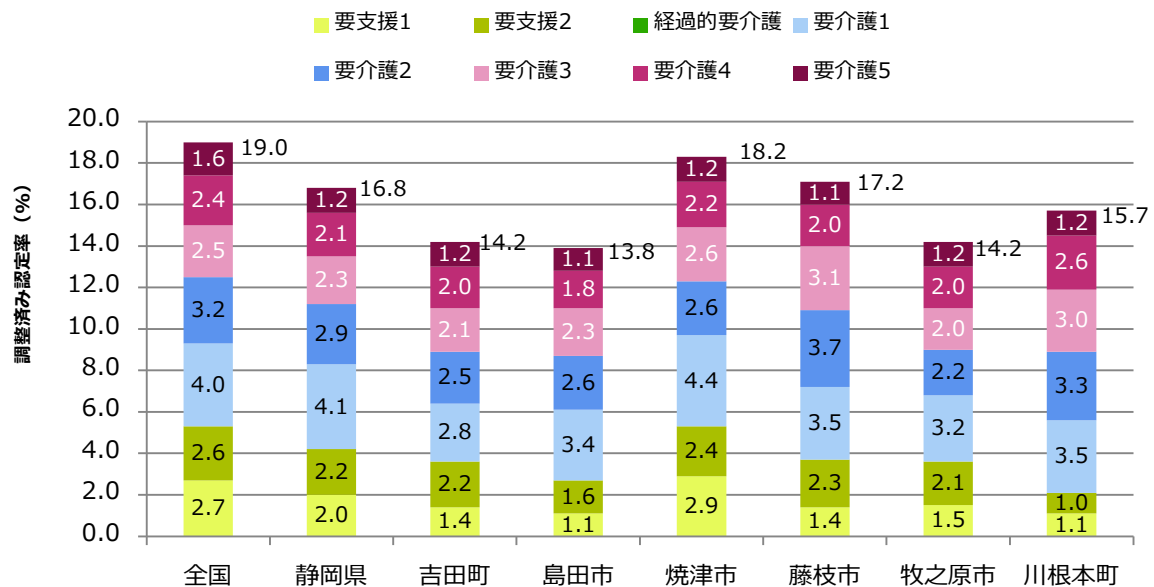
近隣の島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、川根本町と比較を行いました。

| 市町名 | 人口(人) | 世帯数 |
|------|---------|--------|
| 吉田町 | 29,217 | 12,077 |
| 島田市 | 96,130 | 39,210 |
| 焼津市 | 136,623 | 59,636 |
| 藤枝市 | 141,857 | 61,276 |
| 牧之原市 | 43,284 | 17,237 |
| 川根本町 | 6,030 | 2,726 |

※人口及び世帯数は令和5年4月1日時点

2 要介護認定率

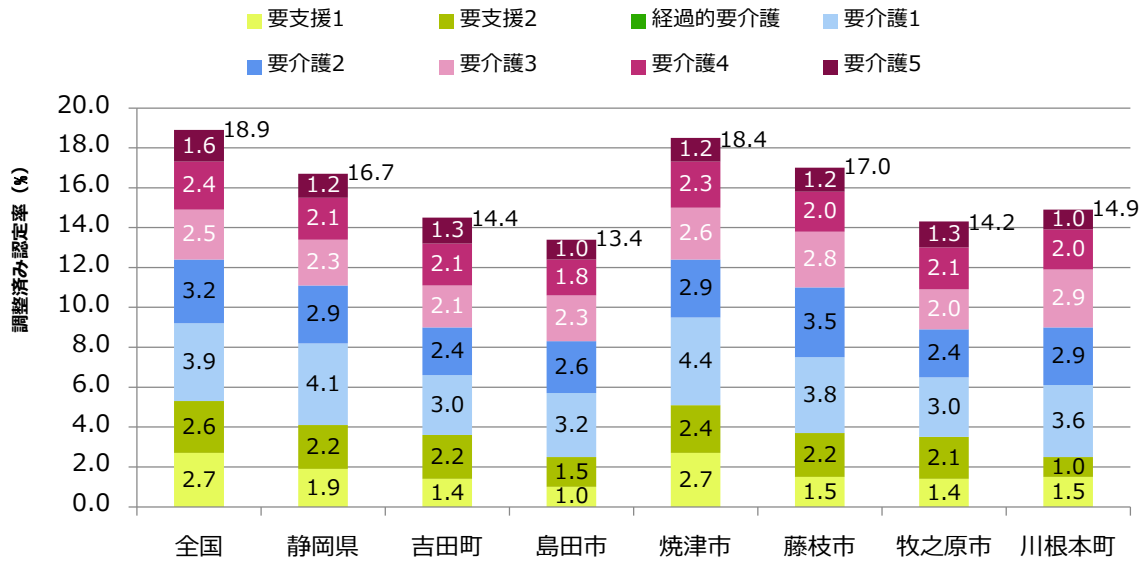
調整済み認定率（要介護度別）（令和4年(2022年)）



(時点) 令和4年(2022年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

調整済み認定率（要介護度別）（令和3年(2021年)）



（時点） 令和3年(2021年)

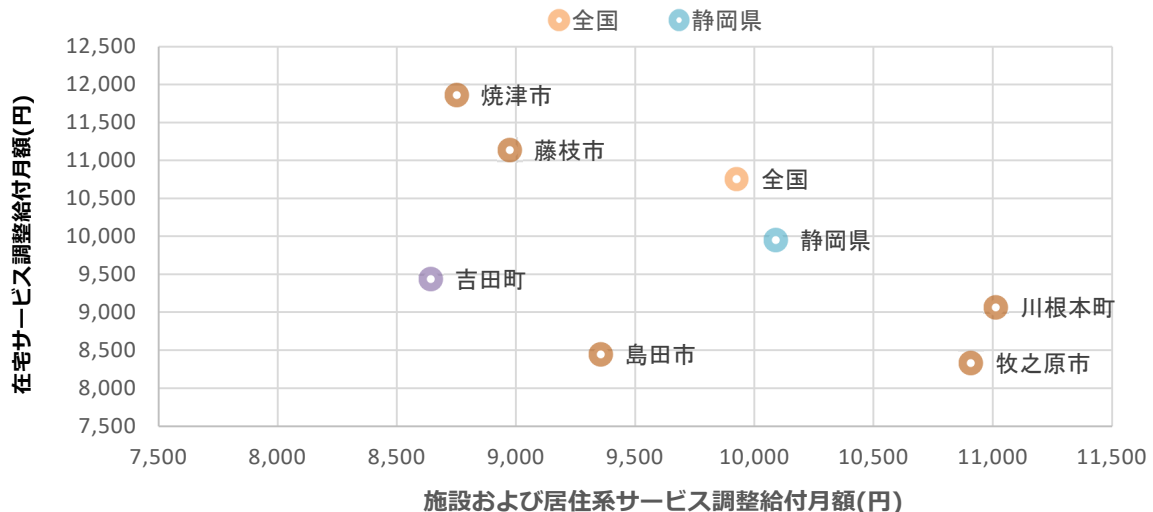
（出典） 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

※本指標は要介護度別の「調整済み認定率」を示すものです。「調整済み認定率」とは、第1号被保険者の性・年齢別の人口構成が、どの地域も同じになるよう調整することで地域間での比較がしやすいように調整した数値です。

静岡県は、全国平均より低い認定率となっています。当町の調整済み認定率は、全国及び県平均を下回っており、前年比でも下回っております。内訳は要支援1～要介護2の軽度認定者の割合が高く、要介護1、要介護4及び要介護5の割合は前年から下がったものの、要介護2は上昇しています。

3 一人当たり給付費（費用額年齢等調整済）

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）（令和3年(2021年)）



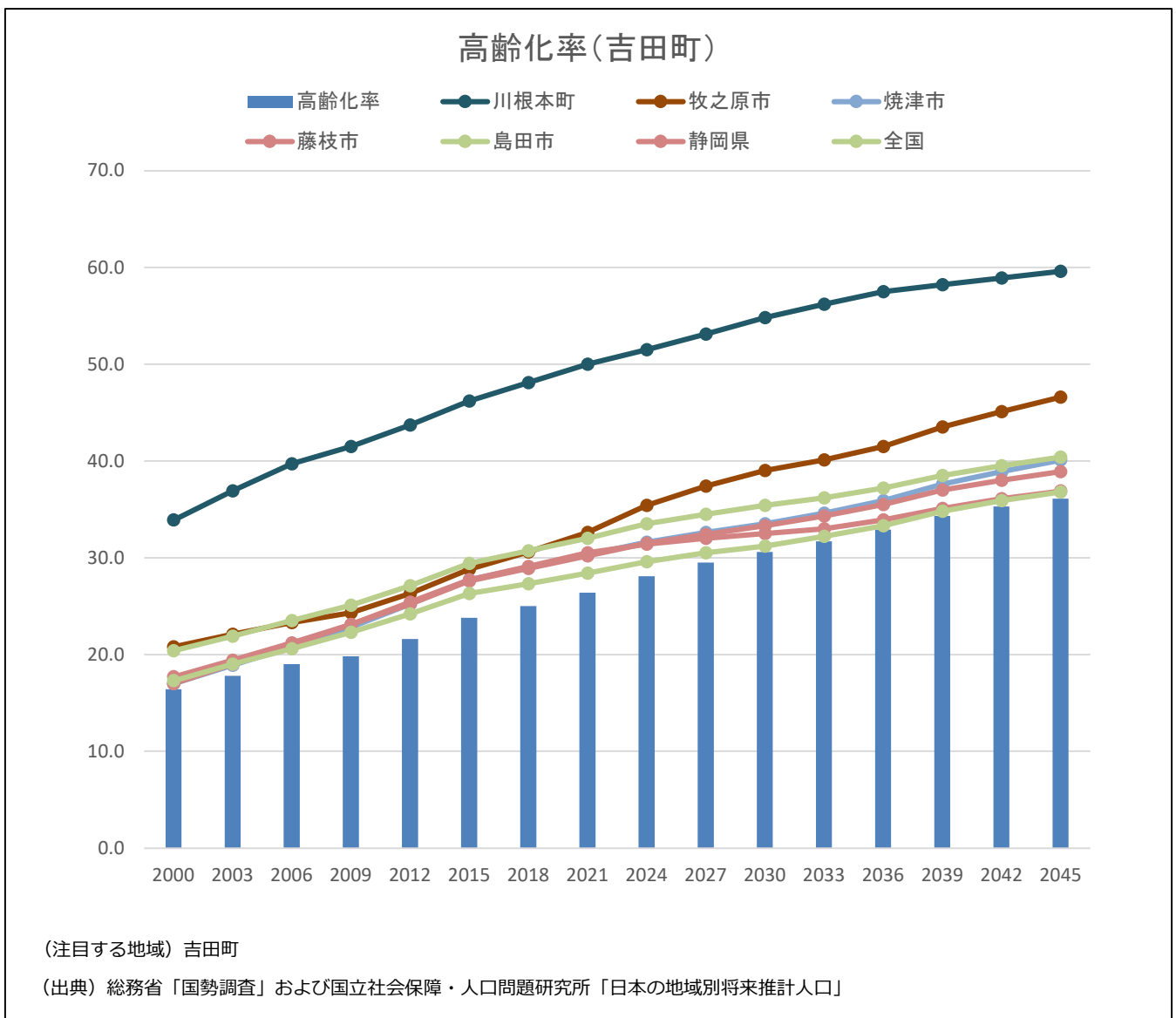
（時点） 令和3年(2021年)

（出典） 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

※本指標は「調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額」を在宅サービスと施設及び居住系サービスという軸で分け、散布時図で示したものです。「調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額」とは、第1号被保険者の性・年齢別の人口構成が、どの地域も同じになるよう調整することに加え、単位数に一律10円を乗じることによって地域間での比較がしやすいように調整した数値です。

当町の給付月額は、縦軸の在宅サービスの給付額、横軸の施設及び居住系サービスの給付額ともに全国及び県平均を下回っています。近隣市町と給付月額の低いほうから比較すると、在宅サービスの給付額4番目、施設及び居住系サービスの給付額は最も低い位置となっています。

4 高齢化率の推移・推計



上表において、当町の高齢化率は棒グラフ、全国、静岡県及び近隣市町は線グラフで表しております。当町は、年々高齢化率が高くなっているものの、いずれも全国よりも低い水準を維持しており、県内や近隣市町村と比較しても、同様の傾向が見込まれております。

5 まとめ（当町の特徴と要因分析）

当町の特徴として、性・年齢構成の影響を除外した調整済み認定率は全国及び県平均を下回っており、調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額で全国及び県平均と比べても、施設サービス、在宅サービスともに低い値となっています。さらに、施設サービスより在宅サービスの値が高くなっています。

要因として、町の介護予防活動への取り組みや、個々の高齢者の積極的な社会参加等の要因が複合的に重なったことや、在宅での生活を希望する傾向が高いのではないかと推察されます。

これらの現状を踏まえた課題として、要介護状態にならないよう、元気なうちから介護予防に取り組むための自立支援や、重度化防止のための取り組みがさらに重要になります。また、可能な限り住み慣れた地域でいつまでも暮らしていくため、必要な介護・医療サービスが受けられるよう、体制を強化していくことが必須となります。さらに、高齢化に伴い、地域では認知症や複合化した困難事例が増加していくことが見込まれることから、住民同士が主体的に地域での担い手となり、支えあいの輪を広げていく支えあいの地域づくりを進めていくことが求められます。